

その他の製造業－その他におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	14~15	1F4号機の清掃中、シフターの止め具のナットをきつく締めすぎてレバーが固定出来ない状態となり、反動で跳ね返った際に外れたバンドが口元に当たり、唇の上辺りが切れてしまった。	38	50～99
5	14～15	本社1号館メッキ職場にて、大型金管楽器のメッキ作業の最終工程の湯洗い工程にて、ワークを湯洗いしていた。保護具を着用（長靴は滑りにくい指定の物）し、槽の前に立ち両足を平行にして腰を曲げて腰を下ろし膝を槽に当て上半身を曲げてワークを湯洗槽に入れて洗浄していた。その際に濡れたグレーチングで足を滑らせ、上体が前に出ている為バランスを崩し、上半身が湯に浸った。	46	500～999
9	7～8	厨房で、ゴミ捨て作業中、扉の開閉をしているとき、強風が吹き風の勢いを見誤ってしまい、扉に右手人差し指を挟んで骨折・切断するケガをした。	27	10～29
10	11～12	弊社構内のビニールハウスのビニール張り替え後の手直し作業中、ハウス内の高さ180cmくらいにある換気扇（縦1m×横1m）周りのビニールの張り具合を調節しているとき、ファンカバーの針金を留めてある溶接部分が劣化のため、たまたま一本外れ、その際はじかれた針金が左拇指爪の下部にあたり負傷した。	65	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html